

指定管理者評価シート

所管課: 西部市民サービスセンター

施設名称	勝平地区コミュニティセンター	指定管理者名称	勝平地区コミュニティセンター管理運営委員会
指定期間	平成30年4月～令和5年3月	評価対象期間	平成31年4月～令和2年3月

	利用者数	収入(A)	支出(B)	収支額(A-B)
平成29年度	34,565 人	5,717,878 円	5,485,161 円	232,717 円
平成30年度	36,933 人	6,028,198 円	5,721,622 円	306,576 円
令和元年度	35,272 人	6,246,422 円	5,905,257 円	341,165 円

評価項目		評価
1 市民の平等な利用の確保		S
①平等な利用確保	・不当な利用制限や特定の利用者の優遇を行っていない	A
	・個々のサービスについて、対応者による格差は生じていない	S
2 公の施設の設置目的の効果的な達成		S
①法令等の遵守	・条例、規則、基本協定、仕様書等に基づき、指定管理者の業務を適正に行っている	S
②地域振興への貢献	・地域関係機関、ボランティア等との連携が図られている	S
	・地域の特性を活かした自主事業を実施している	A
③広報活動の実施	・施設情報の提供や自主事業のPRを積極的に行っている	S
④施設の利用促進	・施設の利用促進に向けた効果的な取組を行っている	S
⑤サービスの向上	・利用者に対するサービス向上の取組がなされている	S
3 効率的な管理		S
①施設・備品管理	・建物・設備が適切に管理され、安全性と良好な機能が保持されている	A
	・備品が適切に管理され、利用状況の把握も適切に行われている	S
	・市民が快適に利用できるよう、清潔に保たれている	S
②環境への配慮	・電気・水道等の効率的利用や廃棄物の抑制など省エネ対策に取り組んでいる	A
4 適正かつ確実な管理を行う能力		S
①適正な人員配置	・施設の管理運営のため、適正な人員配置が行われている	A
②接遇・研修・苦情対策	・利用者に対する職員の接遇、マナーは適切である	S
	・職員の資質の向上のため、研修等を行っている	S
	・アンケート等、寄せられた意見や苦情に適切に対応できる仕組みが整っている	S
③安全管理・危機管理	・事故防止のための取組を行っている	A
	・事故や災害時等の緊急時に迅速かつ適切に対応できるよう責任体制やマニュアル等が整備されている	S
	・マニュアル等に基づき防災訓練等を定期的に行っている	S
④個人情報保護	・個人情報保護の重要性を認識し、適正な取扱いが図られている	S
⑤収支状況	・収支計画に基づいた適切な執行を行っている	A
	・文書、帳簿、通帳の管理を適切に行っている	A
総合評価		S

評価に係る特記事項

1については、適正に行われたと判断される。利用者からのクレーム等がなく、また、平日はサークル優先、週末は一般利用優先とし、多くの人が公平に利用できるよう工夫している点は大いに評価できる。

2については、地域住民の高齢化などにより年間利用者数が35,272人と対前年比4.50%の減(平成30年度利用者数36,933人)となったものの、「スポーツを楽しむ日」を設定し、定期的実施するなど多くの自主事業に取り組むことにより、一定の効果が図られ施設の設置目的は達成されていると判断される。

3については、適正な状況にあると判断される。市民が施設を快適に利用できるよう、設備や備品を適切に管理していると認められる。

4については、適正な状況にあると判断される。指定管理業務に係る収支についても適正に処理されている。

以上のことから、勝平地区コミュニティセンターについては、総じて適切な指定管理がなされているものと評価している。今後も住民との協力関係を維持しながら、地域活性化のため、地域コミュニティの拠点として、安定的な施設運営に取り組んでいただきたい。